

会報 いわて



一般社団法人

岩手県臨床検査衛生検査技師会

第26回 岩手県医学検査学会

業務支援（タスク・シフト・シェア）について考える
～求められる臨床検査、私たちにできること～

2023年
12月1日（金）～12月22日（金）
Web開催（オンデマンド形式）

学 会 長 高橋 一博
（岩手県立中央病院）

主催：一般社団法人 岩手県臨床検査衛生検査技師会
担当：北部地区技師会



学会ホームページ公開中です。

岩臨技 HP のトップページバナーとリンクしております。

ただいま、絶賛 We b 開催（オンデマンド形式）中です。



令和5年度 第2回常務理事会会議議事録

日 時：令和5年9月28日（木曜日）17:30～20:30

場 所：ZOOM 開催

出席者：高橋一博、千葉寛、小野寺奈緒、畠山秀樹、熊谷正邦、熊谷公代、佐々木まゆみ、下川波歩、川村将史、浅沼匡介、藤倉由規、菊池英岳

1. 議事

○協議事項

①岩手県内で地域ニューリーダー研修を岩臨技主催で行うか。（千葉副会長）

講師としては4名なので4グループで、1グループ4～5名が通常なので最大で $4 \times 5 = 20$ 名が最大、余裕を持たせた $4 \times 4 = 16$ 名のどちらかで行う。対象は、基本的に若手（中堅～中堅下）。技師数10名以上の施設の各施設の施設長に案内をして推薦してもらう。今回は、一般会員向きの研修会ではなく、特別な研修会として開催する。今年度は、第2回タスクシフト/シェア実技講習会、精度管理報告会が2月に予定されているため、日程的に厳しいので、令和6年度に開催することにする。

②令和5年度地域医療介護総合確保区分6について（高橋会長）

適応した医療機関に限られ、受け取っても、タスクシフト/シェア受けた個人に交付されるわけではなく、その医療機関の裁量に任される。適応した病院に限られる為、日臨技では、お知らせしてくださいということなので、情報提供として岩臨技のHPから日臨技のHPにリンクさせる。

③令和5年度タスクシフト・シェア実技講習について（千葉副会長）

今年度第2回を予定している。プログラムは例年通り。

講師の派遣看護師は医療局にお願いしている。

会場は、直腸・肛門圧についての講師である高橋先生の日程を確認したうえで2月18日アイーナを予約している。

実務委員は、最大8名まで登録できるので、これまでの実務委員とサポートスタッフとして今までの受講者から実務委員候補として推薦して招き入れて、トータル16名とし、不測の事態にも対応できるようにしたい。

④2024年岩臨技70周年式典+法人化35周年について（高橋会長）

前回50周年の際には、記念誌を発行している。記念誌については断念する。

式典は、来年度の医学検査学会と一緒に行う。

学会はアイーナにし、式典はメトロポリタン又はnewWINGで行う。

会場は、盛岡にして来年度の学会担当の三陸地区と理事がサポートする形で行う。

式典の実行委員の選出も行う。

(い わ て)

⑤H Pの学術、オンライン研修会・会議の掲載内容変更について（小野寺副会長）

○岩臨技ホームページについて

学術や申請に関する内容が更新されていないため、一度ホームページ上から削除することにする。来年度までに申請書、ホームページ、サイボウズ等、学術について見直しを図る。

⑥非会員の参加費について（小野寺副会長）

コロナ禍でweb開催となってから非会員の参加費は「無料」としていましたが、11月開催の研修会から7,000円（岩臨技会費と同額）を徴収することとします。

今後、申請する開催案内には以下のように記載をお願いします。

会員・賛助会員 無料

非会員 7,000円

web開催時の参加費の徴収方法については今後検討。

2. その他

○臨地実習について(菊池英岳監事)

胆沢病院にて依頼を受け実習生を受け入れたが、学校側から臨地実習講習を受講した技師がいる施設で実習をお願いしたいと申し出があった。

各施設の臨地実習講習の状況はどうなっているのか。

病理等ない施設もあることから他の施設と連携していかななくてはならない。

以前は、1施設1名の縛りがあったが、今は施設ごとの受講できる人数に制限がなくなりました。ただし、1施設1名分の補助は出ますが、それ以外は自費になります。

講習自体は、Webで受講できるので、受講するように周知する。

○全国医学検査学会について

2026年 全国医学検査学会にあわせて国際学会を行う予定。

今年度の担当は北日本であるが他支部に依頼し、来年度は北日本で担当することにする。会場はパシフィコ横浜、幕張メッセ等、関東都市部が想定され移動(人数)の面からみても(岩手)単独での担当は難しい。他県とコラボが必要と思われる。

11月に会議があるので、岩手県としては、単独では難しいと回答する。(会員数全国最低)

○zoomアカウントについて

周知のとおり、岩臨技ではzoomアカウントが2つあり。

アカウント1 (iwateamt) : ミーティング (100名)

アカウント2 (gmail) : ミーティング (100名) / ウェビナー (500名)

同時に使用できるのは、2回線のみです。3回線同時はできない

部門会から、回線の追加等の問い合わせがあったが、現状で間に合うと思われるのでこのまま維持する。

研修会の募集範囲を県外まで拡大する場合は、多数の参加が予想されるためウェビナーの利用を推奨。

(い わ て)

○報告事項

- ① 日臨技令和5年度地域ニューリーダー研修派遣推薦決定について

三田氏 1月 参加予定 日臨技にも連絡済

- ② 北日本支部からの連絡について（畠山部門長）

全国学会について（議題等で協議済）

- ③ 岩手県学会の進捗状況について（熊谷理事）

「第26回医学検査学会」メインテーマが決定した。

「業務支援（タスクシフト/シェア）について考える」

～求められる臨床検査、私達にできること～

Web開催（オンデマンド形式）配信期間は12月1日～22日

一般演題募集は8月18日～10月20日までをお願いしているが、集まっていないの

で引き続き、募集する

北部なので参加人数は昨年に比べ少ないことが予想される。

教育講演2題、特別講演1題の3題を予定している。

特別講演

「旧二戸市の歴史や民族、偉人について」

二戸歴史資料館館長

関 豊氏

（座長 熊谷実行委員長）

教育講演

- ① 「タスクシフト/シェア参戦で知った検査前工程とチーム医療」

八戸市民病院 救命救急センター参事 奥沢 悦子氏

（座長 高橋岩臨技会長）

- ② 仮題「タスクシフト/シェアについて」

臨床検査支援協会講演会支援委員会副会長

前 日本大学病院 臨床検査技師長 荒木 秀夫氏

（座長 久慈病院 藤倉副技師長）

講演の収録に関しては、演者、座長ともにZoom Meetingで11月に行う予定です。

個々の協賛募集については、役員のかたに御願ひしている

- ④ 検査と健康展 in やはぱーくについて（川村常務理事）

日程：11月12日（日）開催予定

場所：矢巾町活動交流センター「やはぱーく」

ネーム入りボールペンとネーム入りタオルそれぞれ120枚発注済み。

予算は、50万円

当日は、理事も含めご協力お願いします。

その他

○インボイス制度について（高橋会長）

今回は見送ることにする。

研修会・講習会情報



第3回 タスク・シフト／シェア実技講習会

- 【開催日】 2024 年 2 月 18 日（日）
【開始時刻】 9:30
【終了時刻】 17:30
【場所】 いわて県民情報交流センター（アイーナ）

岩臨技において、第 3 回タスク・シフト/シェア実技講習会の開催を予定しております。この実技講習会は、最低 50 名の受講者の確保が開催条件となっております（定員 60 名）。

最低 50 名の受講者の確保が開催条件となっているため、1 月より北日本支部全域に募集地域を拡大します。

岩手県内会員の皆様におかれましては、早めの参加登録をご検討いただきますようお願い申し上げます。

尚、受講料の入金締め切りは 2 月 8 日（木）となっております。締め切り後の入金は、如何なる理由でも認められておりませんので、入金忘れのないようご注意ください。

**タスク・シフト/シェアに関する
厚生労働大臣指定講習会**

タスク・シフト/シェアは臨床検査技師の手で





令和 5 年度 第2回 感染制御部門研修会

- 【日 時】 2024 年 1 月 20 日（土）14:30 ～16:20
【場 所】 いわて県民情報交流センター（アイーナ） 会議室 501B
【参加費】 会員・賛助会員：無料 非会員：7,000 円

【内 容】

14:00～ 受付開始

14:30～14:50

演題 1. 「岩手県立中部病院の AST 活動紹介」

岩手県立中部病院 診療支援部 臨床検査技術科 田原 龍稀 技師

14:50～15:10

演題 2. 「盛岡赤十字病院の AST 活動紹介」

(い わ て)

盛岡赤十字病院 医療技術部 検査技術課 武田 一成 技師

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20

講演、「抗菌薬の基礎知識」

岩手県立磐井病院 薬剤科次長 濱田 圭之輔 先生

【参加方法】

✓ 日臨技会員は必ず日臨技 HP より事前参加登録が必要です。非会員の方は担当者へお問い合わせください。

【日臨技生涯教育点数】専門 20 点

【問い合わせ先】

岩手県立中央病院 診療支援部 臨床検査技術科 塩越真由美

TEL: 019-653-1151 (内線 2237)

E-mail: mshiokoshi@gmail.com





令和 5 年度 日臨技 北日本支部研修会
臨床血液部門研修会の開催案内

主 催:(一社)日本臨床衛生検査技師会 北日本支部
実務担当技師会:(一社)秋田県臨床検査技師会

- 【テーマ】 『 Let's think 血液検査 ～考える力を高めよう～ 』
【開催形式】 Web 開催(日臨技オンデマンド配信)
【配信期間】 令和 6 年 1 月 20 日(土)～ 2 月 18 日(日)
【定 員】 200 名
【受講料】 1,000 円
【生涯教育研修制度】 専門教科 20 点
【プログラム】

講演1「血液検査領域の精度管理～知っておきたい注意点～」(45 分)

船橋市立医療センター 医療技術部臨床検査科
福田 幸広 先生

講演2「末梢血・骨髓像の見方を習得しよう～見て・考えて・スキルアップ～」(45 分)

順天堂大学浦安病院 臨床検査医学科
澤田 朝寛 先生

講演3「破碎赤血球をロジカルに判定する～”難しい”を少しでも解消しよう!～」(45 分)

東北大学病院 診療技術部検査部門
菅原 新吾 先生

(い わ て)

講演4「Let's think 凝固検査～自信を持って結果を報告するために～」(45 分)

大阪医科薬科大学病院 中央検査部
梶谷 亮太 先生

講演5「実践!!クロスミキシングテスト」(45 分)

天理よろづ相談所病院 臨床検査部
下村 大樹 先生

講演6「今から判る、フローサイトメトリー検査の基礎と実践」(45 分)

東京大学医学部附属病院 検査部
常名 政

【申し込み方法】

日臨技ホームページの会員専用ページから事前登録を行ってください。

日臨技ホームページ→会員専用ページ→事前参加申請へ→主催:北日本支部を選択→

該当する研修会选择→事前参加申し込み

*日臨技のシステムからの配信となるため、視聴は会員の方に限らせていただきます。

ご了承下さいますようお願いいたします。

【申し込み期間】

令和 5 年 11 月 27 日(月)～令和 5 年 12 月 29 日(金)

【研修会事務局】

〒013-8610 秋田県横手市前郷ハツ口 3-1

JA 秋田厚生連平鹿総合病院 臨床検査科 石垣浩子

TEL:0182-32-5121(代)／FAX:0182-33-0636

Email: hiraka-ketsueki@hiraka-hp.yokote.akita.jp



先日、行われた 検査と健康展 in やはぱーく 川村 将史常務理事より開催報告いただきました。

全国 検査と健康展 in やはぱーくが開催されました！！

公益事業部 川村 将史

新型コロナウイルス感染症患者は県内で減少傾向にある中ではありましたが、インフルエンザが猛威を振るい始めてしまい感染対策は継続して必要な中、2023年11月12日(日)に開催しました。当日は、あいにくの天候で冷たい雨に見舞われてしまいましたがコロナ禍明け?で外出する県民も増えたこともあり、162名もの多くの方にご来場いただくことができました。

今回、展示および体験していただいた内容は、健康啓発パネルや臨床検査紹介パネルの展示の他に、感染対策を行いながら体験していただける内容を考え、「AED体験コーナー」と、「エコー体験コーナー」を設置しました。日々の臨床検査業務とは直結しない印象の「AED」ですが、一医療人としては重要な行為であり、一人でも多くの方が心肺蘇生法を身につけていただくことを目的として設置しました。実際に、中学生と父親の親子に体験していただきました。場面設定も行い、「もしお父さんが倒れていたら!?どうする!?!」として行っていました。

(い わ て)

が、とても真剣に実技を行っていただきました。逆に企画した私たち側が感心させられるくらいの熱演でした。エコー体験は実際に機械に触れて、目に見える形を自分で画像として抽出できる面白さを体験していただけたと感じています。参加スタッフもコロナ禍の前なみに増員し、日々の業務が忙しい中、臨床検査技師の知名度普及と県民の健康増進のために熱心に頑張ってくださいました。また、快くスタッフを送り出していただいた現場の方々にもこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。今回参加できなかった会員の皆様！来年はぜひご参加いただき、イベントを盛り上げていただけたら嬉しいです！！





“つなぐ”

今回の『つなぐ』は、県立二戸病院 原子穂乃花さんです。

今回、県立中央病院の林稜太さんから「つなぐ」のたすきを引き継ぎました、県立二戸病院の原子穂乃花です。配属された病院に大学の先輩がいてとても心強かったです。いろいろとご指導いただき本当にありがとうございました。また飲みにいきましょう！

まず簡単に自己紹介したいと思います。名字は「ハラコ」と読みます。電話口ではあまり一回で聞き取ってもらえないのですが、今までで一番驚いた言い間違いは「ゲンシ」です。出身は青森市です。青森市では私と同じ「原子」さんを何人か見かけます。大学も青森だったので訛りが抜けず、話すと大体「どこ出身？」と聞かれます。「そんなに？」と思うくらい聞かれるのでなおそうと思った時期もありましたが、なおらないので諦めました。

定期的に実家に帰るのですが、そのときにラーメンをよく食べに行くので紹介します。

①まるかい

ストレートの中太麺。メニューは醤油ラーメンのみ。あっさり系ですがあっさりとしすぎず、しっかりと煮干しが感じられとても美味しいです。私は1番好きです。



②華丸ラーメン

ちぢれ細麺。メニューは焼干しらーめんと焼干しあ肉らーめん等。あっさりしているのですが量が多く「中」でお腹がいっぱいです。回転率が良く、駐車場も広いです。



③ひらこ屋

ストレート太麺。メニューは煮干しのあっさりとかいくち、バラソバ、にぼだく等。スープがとにかく美味しいです。紹介するお店の中で1番煮干しを感じます。



系列店の「菰ぼし」には辛い煮干しそばがあります。すごい汗が出る位の辛旨です。駐車場が狭いですが交通便が良いです。

④あさ利

辛いネギラーメンが有名なお店。辛さをなし～5まで選べるのですが、1が一番辛いです。細麺で量多めでした。私は辛いものが好きなのですが、4でちょうど良いレベルでした。私の母の辛み耐性は「得意じゃないけど食べられる」位なのですが、5で辛みと油にやられギブアップしていました。

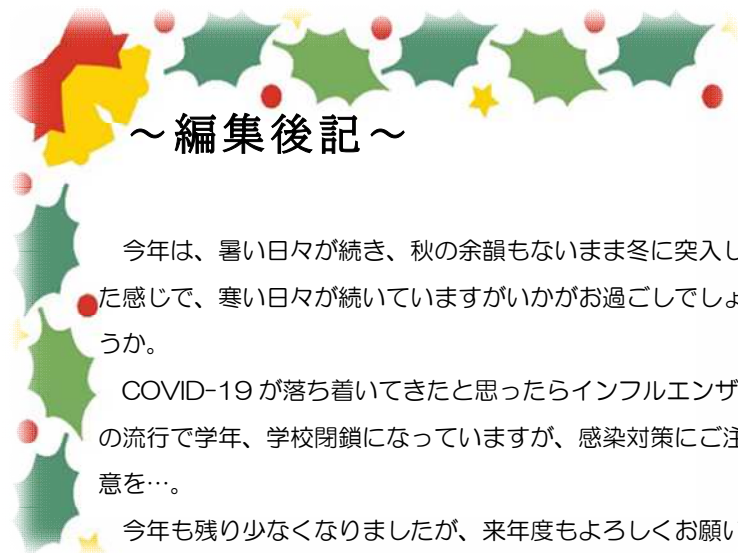


ネギの強い甘みとラー油・胡椒の辛みを感じられ美味しいです。



拙い食レポですみません。上手く伝えられませんでしたがお店もとても美味しいので、青森市に行くことがあればぜひ食べてみてください！

次回は笑顔が素敵な同期入局の県立宮古病院、伊藤七海さんにつなぎたいと思います。引き受けて下さりありがとうございます。宜しくお願いします！



～ 編集後記 ～

今年は、暑い日々が続き、秋の余韻もないまま冬に突入した感じで、寒い日々が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。

COVID-19 が落ち着いたと思ったらインフルエンザの流行で学年、学校閉鎖になっていますが、感染対策にご注意を…。

今年も残り少なくなりましたが、来年度もよろしくお願いし

COVID-19 が落ち着いてきたと思ったらインフルエンザの流行で学年、学校閉鎖になっていますが、感染対策にご注意を…。

会報「いわて」第 344 号 2023.12

発行人：

事務局：下川 波歩

藤倉 由規

Tel. (019)613-6111 内線 3699 Fax. (019)654-8510

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp